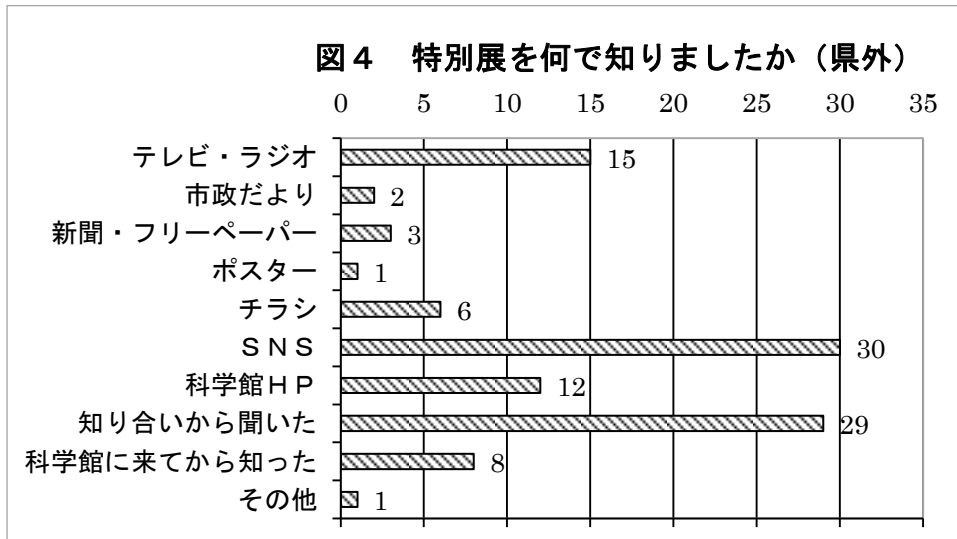
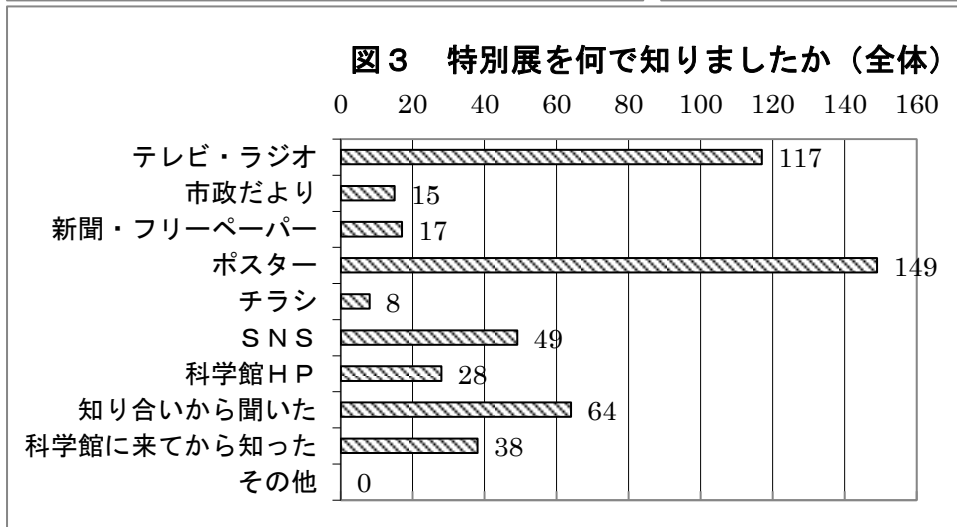
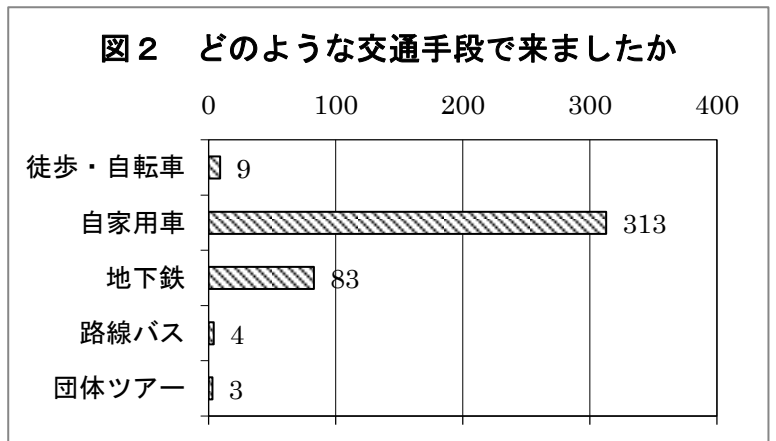
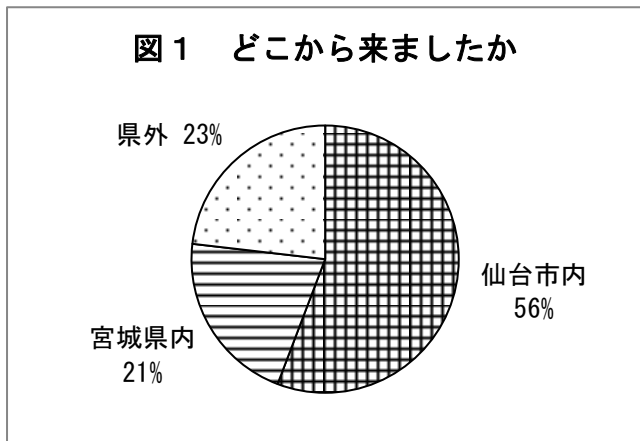


- 1 アンケート実施日 平成 30 年 8 月 5 日 (日), 12 日 (日), 17 日 (金)
- 2 アンケート方法 用紙による記入
- 3 アンケート回答者 小学生以上の来場者 426 人
 - (内訳) 小学生 287 人 (回答者の 67%)
 - 中学生 27 人 (回答者の 6%)
 - 高校生 3 人 (回答者の 1%)
 - 大学生・一般 109 人 (回答者の 26%)

4 アンケート結果の概要

(1) 来館者の傾向



アンケート全回答数の内、市内と県内を合わせた割合は、概ね例年と同程度である。(図 1)

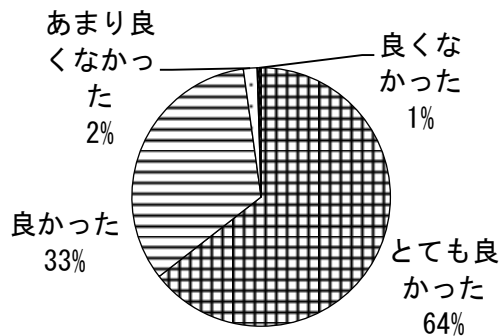
来館手段は、自家用車が最も多く、地下鉄が続く結果(図 2)となっており、その割合も概ね例年と同程度である。

特別展の開催についての情報は、全体傾向として、昨年と同様にポスターとテレビ・ラジオ等から情報を得ていることが伺える。(図 3)今年度、テレビ・ラジオについては、9 つの媒体で紹介した。一方、県外からの来館者の回答では、SNS や知り合いから情報を得ている割合が多く、次いでテレビやラジオ、HP となっている。(図 4)

今後は、来館者が利用している SNS の具体についても精査することが必要と考える。

(2) 特別展の評価

図5 特別展への評価 (全体)



特別展の評価としては、「とても良かった」、「良かった」との回答が大勢を占めた。

(図5) 年代別の評価では、小中学生、高校生からの評価が特に高く (図6)、生体復元模型や全身骨格標本、化石・標本類などの学術的な展示物が趣向に合うものだったといえる。また、化石発掘体験やAR・VR体験や恐竜クイズ・恐竜クイズなどの参加体験型の企画も好評を得ることができた。(図7)

図6 年代別の特別展への評価

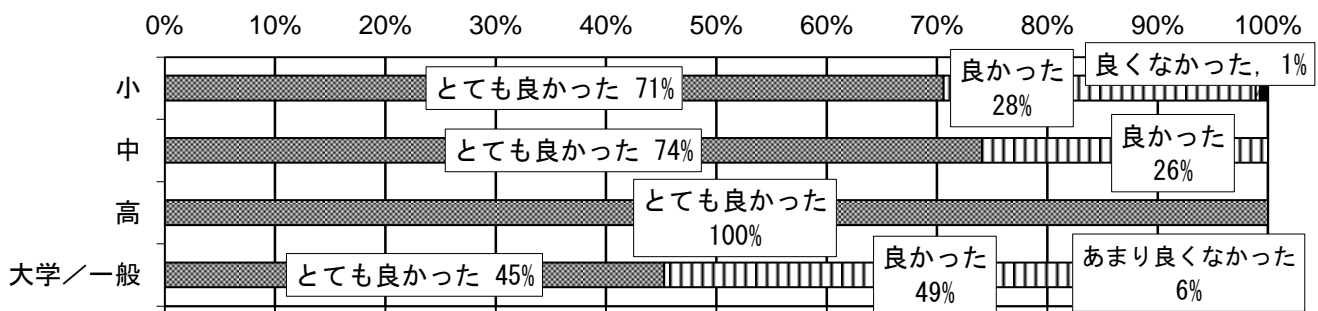


図7 興味を持った展示物や企画は

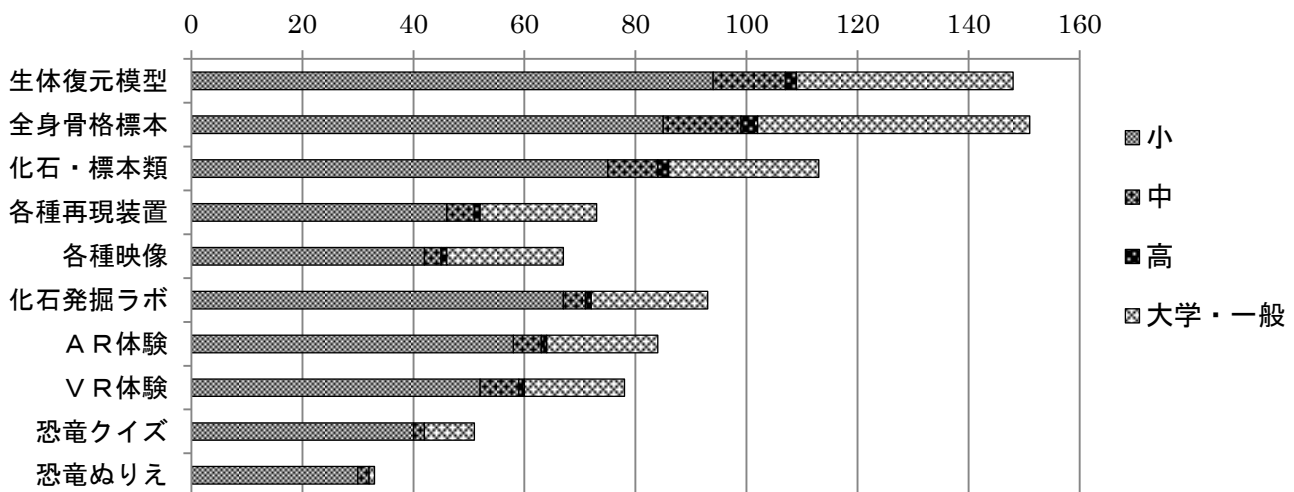
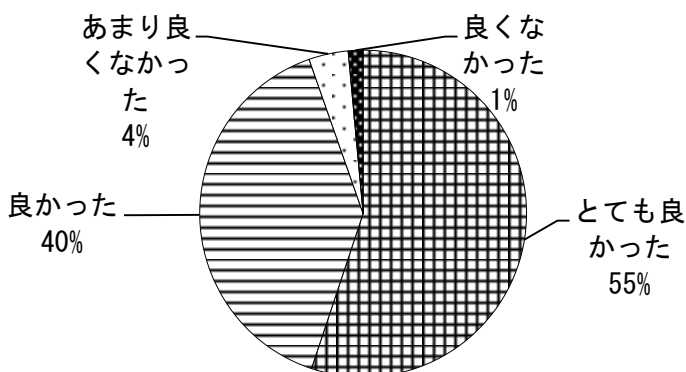
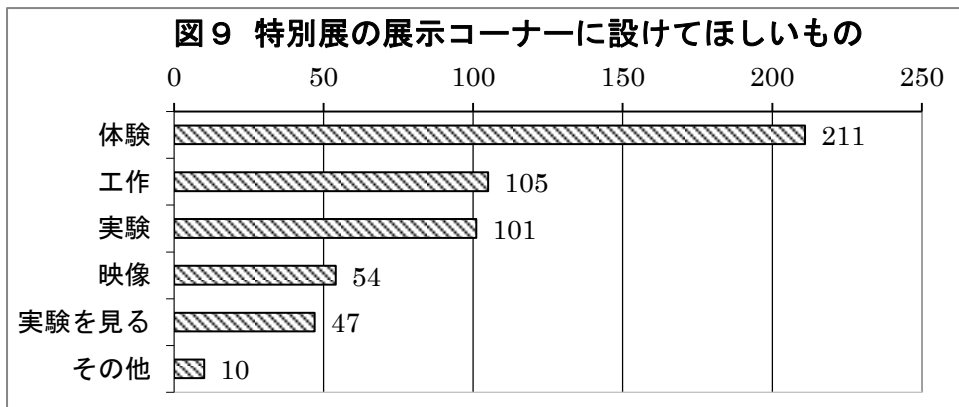


図8 「VR体験」の評価



今回の特別展で企画したVR体験については、33日間の開催期間中に延べ24,417人が体験(1日平均:740人,最大931人)した。体験者の評価としては、「とても良かった」、「良かった」との回答が95%を占めた。(図8) 主なものとして、「リアルで迫力があつた」、「映像がきれい」などの感想が寄せられた。一方、未就学児が体験できないことに対する意見も寄せられた。整理券の自動発券機や呼び出しシステムを導入したことで、会場内で長時間並ぶことを避けることができた。

(3) 次年度以降の要望



取り扱ってほしいテーマ

- ・深海魚
- ・近未来の科学技術
- ・プログラミング
- ・化学実験
- ・恐竜や昆虫（連続で）
- ・VRやAR（体験型）
- ・ロボット（順不同）